

令和元年6月7日現在

機関番号：11301

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2014～2018

課題番号：26780180

研究課題名(和文) マイクロデータを用いた医療・介護保険制度の非効率性に関する経済学的分析

研究課題名(英文) Empirical analyses on the inefficiency in the health and long-term care insurance systems in Japan: Evidence from microdata

研究代表者

湯田 道生 (Yuda, Michio)

東北大学・経済学研究科・准教授

研究者番号：30454359

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究課題では、(1)医療・介護利用、(2)医療扶助制度、(3)分娩選択に関する実証研究に主に取り組んだ。(1)では、中高年の家庭内介護者の健康状態が彼らの両親(義理の両親も含む)の要介護状態に与えた影響を検証した。(2)では、医療扶助受給者と健康保険加入者の医療利用を比較した。(3)では、近年の社会環境の変化が分娩方法選択に与える影響を推定した。加えて、喫煙や財政に関する実証研究も行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

(1)の分析では、介護者の健康状態が悪化すると、両親の要介護状態が悪化することを明らかにした。(2)の分析では、入院・入院外の双方において、被保護者の医療費が健康保険加入者の医療費よりも有意に高いが、非効率性の大きさは必ずしも大きくないことを明らかにした。(3)の分析では、設備が整った医療機関においてだけでなく、近年の出産一時金の増額によって帝王切開分娩件数が上昇していることを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：In this research project, I have mainly conducted several empirical analyses on (1) the utilization of medical and long-term cares, (2) the Japanese medical assistance system, and (3) social environment and delivery choice. Specifically, I examine the effect of the health condition of the informal caregiver on their parent's (including those in-laws) care level in the project (1). In the project (2), I statistically compare the outpatient and inpatient utilization of the medical assistance patients with those of public health insurance. In the project (3), I examine the effects of recent public and social environment changes and Caesarean section delivery choice. In addition, I conducted other empirical analyses on smoking behavior and public finance of the health insurance system in Japan.

研究分野：医療経済学

キーワード：医療経済学 ミクロ計量経済学 医療保険制度 医療扶助制度 東日本大震災 分娩選択

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

国民皆保険制度の下で、日本国民の健康水準や平均余命は世界トップレベルの水準を達成したが、その一方で、我が国は、長寿化によって増大する医療費や介護費をどのようにファイナンスしていくのかという財政面の問題に直面している。これから本格的な少子高齢化社会の到来を迎えるわが国において、限りある財源や医療・介護資源を効率的に活用するための制度設計は喫緊の政策課題の一つであるといえる。

2. 研究の目的

本研究の目的は、現行制度における医療・介護に対する需要と供給が有する特性とそれらの非効率性に関する検証を行うことを通して、少子高齢化社会における効率的な医療・介護制度の在り方を提示することである。

3. 研究の方法

本研究における各分析をすすめるにあたって、まずはそれぞれのマイクロデータを組織の担当者に連絡を取り、それぞれの分析で使用する調査票情報の利用に関する事前相談と利用申請を行う。個票データが研究室で利用可能な状態になるまでには、数か月の期間を要するため、その間にそれぞれの研究の先行研究や関連する制度の詳細な変遷等のとりまとめを行う。個票データが利用可能になった後には、それらを統計ソフトで分析可能なデータセットに変換し、それをういて解析作業を行う。ある程度の研究成果がまとまった時点で、第一稿を国内外の学会等で研究報告を行う。その後の改訂作業を経て、国際的な学術雑誌に論文を投稿し、研究成果が公表されるように努める。

4. 研究成果

下記に示すとおり、11件の学会報告等を経て、7本の論文と1冊の書籍を刊行することができた。

5. 主な発表論文等

下記に示す通りである。

[雑誌論文](計 7 件)

湯田道生(2019)社会環境の変化と帝王切開分娩手術の選択, *Progress in Medicine*, Vol.39, pp.165-170.

Michio Yuda (2018) The medical assistance system and inpatient health care provision: Empirical evidence from short-term hospitalizations in Japan, *PLOS ONE*, Vol.13(10), e0204798.

Michio Yuda (2018) Public and social environment changes and caesarean section delivery choice in Japan, *BMC Research Notes*, Vol.11(633), pp.1-6.

Michio Yuda (2016) Structural and Regional Characteristics and Cost Efficiencies in the Local Public Health Insurance System: Empirical Evidence from the Japanese National Health Insurance System, *Journal of Economics and Public Finance*, Vol.2(2), pp.262-279.

Michio Yuda (2016) Policy Challenges to Reduce Smoking Rates: Japanese Experiences and their Economic Evaluation, *Internal Medicine Review*, Vol.2, pp.1-15.

Michio Yuda and Jinkook Lee (2016) The Effects of Informal Caregivers' Health on Care Recipients, *Japanese Economic Review*, Vol.67(2), pp.192-210.

Michio Yuda (2016) Inefficiencies in the Japanese National Health Insurance System: A Stochastic Frontier Approach, *Journal of Asian Economics*, Vol.42, pp.65-77.

[学会発表](計 11 件)

湯田道生, Medical assistance system and the demand for and supply of outpatient health care: Empirical evidence from Japan, 現在経済研究会(東北大学大学院経済学研究科), 2018年4月19日。

湯田道生, Medical assistance system and the demand for and supply of outpatient health care: Empirical evidence from Japan, 財政・公共経済ワークショップ(東京大学大学院経済学研究科), 2017年4月7日。

湯田道生, Medical assistance system and the demand for and supply of outpatient health care: Empirical evidence from Japan, 2nd Bari-Chukyo Agreement One Day Workshop, 2017年3月10日。

湯田道生, Medical assistance system and the demand for and supply of outpatient health care: Empirical evidence from Japan, 定例研究会(一橋大学社会科学高等研究院), 2016年12月5日。

湯田道生, Medical assistance system and the demand for and supply of outpatient health care: Empirical evidence from Japan, 日本財政学会, 2016年10月22-23日。

湯田道生・岩本康志・両角良子, 児童に対する医療費助成制度が医療サービス利用に与える影響, 日本財政学会, 2015年10月17-18日。

両角良子・岩本康志・湯田道生, 介護サービスの利用環境が要介護高齢者の要介護度に与える影響 - 訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションに着目して, 日本経済学会, 2015年10月10-11日。

両角良子・岩本康志・湯田道生, 介護サービスの利用環境が要介護高齢者の要介護度に与える影響 - 訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションに着目して, 医療経済学会, 2015年9月5-6日。

Michio Yuda, The Unexpected Cigarette Supply Shock and Smoking Behaviors, The 11th World Congress, the International Health Economics Association, 2015年7月12-15日。

Michio Yuda & Jinkook Lee, How Informal Caregivers' Health Affects Recipients, RIETI-JER Workshop: Economics of Aging in Japan and Other Societies, 2014年12月13日。

Michio Yuda & Jinkook Lee, How Informal Caregivers' Health Affects Recipients, 公共経済学セミナー(慶應義塾大学経済学部), 2014年12月5日。

〔図書〕(計 1 件)

湯田道生(2018)『国民健康保険財政の経済分析』, 勁草書房, 全192頁。

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年:
国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年:
国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名:

ローマ字氏名:

所属研究機関名:

部局名:

職名:

研究者番号(8桁):

(2) 研究協力者

研究協力者氏名:

ローマ字氏名:

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。